

平成 31 年度 施政方針

平成 31 年 3 月定例市議会の開会に当たり、平成 31 年度に臨む、施政の基本方針を申し上げ、市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

北陸新幹線飯山駅の開業から 5 年目を迎えようとするなか、実感できる開業効果といたしまして、訪日旅行者の増加があげられます。特にスキーシーズンに大勢の外国人旅行者が飯山駅に降り立つ姿は、新たな冬の風物詩ともいえる光景となりました。また、新幹線駅開業後の移住者の増加もその効果の現れと感じているところでございます。

「開業から 10 年で新幹線駅の存在価値や資産価値が決まる」とも言われており、この先の数年間が「新幹線駅開業都市」としての位置づけが決まる大変重要な時期となります。歴代の市長や市民の皆様が思い描いた未来を見据え、飯山市や周辺地域を含めた経済振興の推進に向けて、「公民連携」という手法も活用しながら、駅周辺市有地への商業施設等の誘致などによる、にぎわい創出と雇用の拡大を図り、信州の北の玄関口に相応しいまちづくりを進めてまいります。

新年度は、第5次総合計画後期基本計画の2年目となり、計画のテーマである「北陸新幹線飯山駅を活用した観光交流人口増、地域産業の創出と育成そして移住人口、若者の定住人口増へ」を実現するための4つの重点目標と21の戦略プロジェクトを着実に推進してまいります。また、市長就任3期目の公約に掲げた5項目「人口対策として活力ある『グローバル&ローカル』な経済振興の推進」、「市民の健康増進のための予防医療の先進地づくり」、「世界との交流、若者の人材育成と就労・定住を包括支援」、「次世代人材育成への投資と芸術・文化、スポーツ振興」、「防災体制の強化や高齢者が元気で生き生きと暮らせる地域づくり」を重要政策として進めてまいります。この政策の達成には、事業実施手法の改革が必要と考えており、そのために市役所組織の機構改革を行い、新たに「事業戦略室」「公民連携推進室」を設置し、事業戦略のレベルを高めるとともに事業実施手法の向上を図ってまいります。

ここで、市政を取り巻く国や県の状況等を申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

1月28日に閣議決定された「平成31年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、10月に消費税率の引き上げが予定されている中、経済の回復基調が持続するように当初予算において臨時・特別の措置を講ずるなどの政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環がさらに進展し、内需を中心とした景気回復と需給が引き締まる中で、実質GDP成長率

は 1.3%程度、名目GDP成長率は 2.4%、消費者物価は 1.1%程度上昇すると見込まれております。

国の新年度予算案は、消費税引上げによる経済への影響緩和の措置分を含め 101 兆 4,571 億円、前年度当初と比べ 3 兆 7,443 億円、3.8%増の予算規模となったところです。「新経済・財政再生計画」の下、歳出では、全世代型の社会保障制度への転換に向け、消費税増収分を活用した幼児教育の無償化、社会保障の充実を図り、社会保障関係費を 1 兆 710 億円増額する一方、歳入では税収の増を 3 兆 4,160 億円と見込んでおります。

また、新規国債発行額は前年度から 1 兆 317 億円の減額とし、公債依存度は 32.2%と前年度当初と比較すると 2.3 ポイント減少しております。しかしながら、平成 31 年度末の公債残高の見込みは約 897 兆円、国民 1 人当たりでは約 713 万円と見込まれ、借金が増加している状況に変わりはないところでございます。

長野県にあっては、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現を目指し、しあわせ信州創造プラン 2.0 に位置付けた施策の本格展開を図るための予算編成となっております。国の緊急対策予算を活用して、重要度が高い防災・減災事業を 30 年度からの 3 か年で集中的に実施するため、歳出総額は前年度比 396 億円、4.7%増の大幅増となっておりますが、緊急対策対応分を除くと 10 億円、0.1%の微増となっております。

このような状況の下、飯山市における財政は、引き続き厳しい状況に変わりはありませんが、市民サービスに直結する施策の推進のため、30年度中に策定する第6次行財政改革大綱を確実に推進し、持続可能な行政経営体制と財政構造を構築する改革を進めてまいります。

市民各位、議員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第であります。

それでは、新年度予算の特徴と、施策の概要を申し上げます。

予算総額は、一般会計で140億8千万円、前年度比6億円、4.5%の増であります。歳入では市税を前年度同額の24億円、地方交付税を前年度より3億1千万円増の49億5千万円を計上し、ふるさと納税などの基金の活用、市債等で歳入確保をいたしました。歳出につきましては、移住人口・若者の定住人口増、北陸新幹線飯山駅を活用した観光交流人口増、地域産業の創出と育成、次世代を担う子どもたちに向けた施策に対し、予算の重点配分を行ったところ
です。

以下、新年度の重点施策に関わる事業について後期基本計画の「いいやまづくり」重点目標の4つの柱に沿ってご説明を申し上げます。

一つ目は、「仕事と子育てのまるごと応援で若者の住みたくなるまちづくり」についてです。

若者が定住し、地域を支え、子どもを産み育ててくれる環境にあることが飯

山市の持続的発展に不可欠であります。人材育成、就労支援、住宅支援、子育て環境整備など「若者まると支援」を最も重要な政策として取り組んでまいります。

若者世代に向けた移住・定住の促進を図るため、新たに移住定住促進住宅として1棟10戸の集合住宅の整備を行うとともに、秋津中央団地に1棟、長峰公園住宅地に2棟の戸建て住宅を、大深住宅地には1棟4戸の集合住宅を若者住宅として整備いたします。

移住推進については、移住を検討されている方への各種媒体を活用した情報発信を更に拡充して行い、Iターン・Uターンの促進を引き続き図ってまいります。また、新たに、セミナー、相談会に参加いただき、空き家物件の内覧やお試し暮らし制度の利用等のために飯山市へお越しいただく方には、交通費に対する助成制度を創設するとともに、住宅新築補助の対象に40歳未満の独身の方を追加するなど移住する皆様の住宅取得や既存の空き家の活用に係る支援制度の拡充を図ってまいります。

定住の推進についても、三世代が同居するための住宅の新築・増築等に対する補助について、親の年齢要件の緩和や居室の改修についても対象とするなど拡充を行うとともに、引き続き、若者の市内での生活を応援するため、市内企業に就職する新卒者の奨学金返済の補助やJR飯山線による通勤や新幹線通勤に対する補助を行ってまいります。

子育て支援体制の充実に向けては、子育て支援の総合的拠点施設である飯山市子ども館「きらら」や子育て世代包括支援センター「あいえーる」の運営に

より、引き続き若い世代の子育て支援と次世代を担う子どもたちの成長の応援を行い、子育てに関する総合的な支援を進めるほか、きららの利用者の安心・安全な交通確保のため周辺道路の整備を行ってまいります。

また、若者や女性を対象とした（仮称）いいやま塾を開催し、将来のいいやまづくりに対する意見をお聞きするとともに、地域の次世代のリーダーや主体的に地域づくりを担う人材育成を図ってまいります。

二つ目は、「自然環境と高速交通網を活用した産業を育成するまちづくり」についてです。

新幹線は飯山市にとって多様なインパクトを与え続けるインフラであります。新幹線飯山駅が開業以来、特に冬のインバウンドのお客様が増えており、今後もアジアからのお客さんが増えることが予想されるなか、雪を活用したレジャーはこれからインバウンドに大変有望であると感じているところであり、スキー以外にも長い期間雪を楽しめるメニューを増やしていくことが大切です。また、グリーンシーズンにおける誘客は、この地域の課題であり、自転車の活用や健康や食とリンクしたアウトドアコンテンツの創造、豊かな自然環境を活かしたアクティビティイベントの開催により、国内外から更なる誘客を図ってまいります。そのために信州いいやま観光局と一層連携し、また、企業から旅行商品開発の専門知識を有する「地域おこし企業人」の派遣による、訴求力の高い「体験・滞在型」観光旅行商品の開発を引き続き進めてまいります。

産業の育成にあたっては、長野県立大学と連携し、若手・女性の事業者の育

成及び新たな社会的ビジネスの創出を進めるとともに、新たに、後継者不足が課題となっている伝統産業、建設業などの技能職人後継者の育成を図るため、支援制度を創設いたします。また、起業支援センター「あすちやれ」の機能の充実及びサテライトオフィスの誘致を推進してまいります。

道の駅「花の駅千曲川」につきましては、引き続き駐車場整備を行い、農産物直売所の拡大及び自転車や川を活かしたアウトドアアクティビティの拠点化を推進してまいります。

三つ目は、「防災体制と医療介護体制の充実で親も子どもも安心できるまちづくり」についてです。

防災体制の強化、健康・医療・介護・子育ての体制の充実など、全ての世代の不安に対応し、引き続き安心・安全に暮らせる地域づくりに全力で取り組んでまいります。

子どもを安心して産み育てることができる環境整備に向けて、医療給付の対象に新たに高校生の通院分を加え、出生から高校卒業までの入通院について現物給付することで医療機関窓口での負担軽減を図るとともに、乳幼児の健やかな成長と妊産婦の心身の健康の維持のため、新たに産後ケアとして産婦健康診査を実施してまいります。

また、市民の健康増進のため、新たに歯科疾患の予防等による口腔の健康保持の推進を図ります。市民健康診査に歯周疾患検診を加え、対象者を20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の市民とし、歯の喪失原因である歯周疾患

の早期発見による治療を促すことにより、健康寿命の延伸を図ってまいります。

地域中核医療機関の機能充実に向けた支援を継続するとともに、医師研究資金の貸付を拡充することにより、産婦人科医、小児科医等の勤務医不足に対して、医師招聘の推進を図ってまいります。

子どもから高齢者まで安心して暮らせる防災体制の整備に向けては、新年度から2か年で、新たなデジタル防災行政無線の整備及び情報伝達の多重化を行うとともに、新年度において、災害時における市民生活の保持のための優先業務を特定し、緊急時に市役所として行うべき業務の執行体制や対応手順、並びに継続に必要な資源の確保等について定める業務継続計画を策定してまいります。

高齢者施策としては、重度要介護高齢者に対する家庭介護者の慰労金を増額し、家庭介護がしやすい環境を整えてまいります。また、高齢者等の玄関先の除雪支援については、2年目を迎え、見直しを図るなかで、対象世帯の拡充を行うとともに、地域における除雪支援体制の組織化や組織における除雪機購入に対して支援する制度を創設いたしました。新年度においても引き続き冬の暮らしの安心・安全に取り組んでまいります。

四つ目は、「ICT教育と国際交流を通じて生きていく力と郷土愛を育成するまちづくり」についてです。

引き続き小中学校へのタブレットPCの整備を進め、学習支援ソフトの導入により情報活用能力を育成するなど、一層のICT教育の推進を図ります。新

たにA I、I o T時代に対応するため、S T E M教育を導入し、プログラミング教育を進め、グローバルに活躍できる児童・生徒の育成を推進してまいります。

小学校英語の教科化の先行実施、児童生徒の英語力及び英語コミュニケーション能力の向上のため、引き続き英語指導主事1名、外国語指導助手(A L T)6名を雇用し、城南・城北中学校及び飯山小学校へは各1名ずつ、その他の小学校へは2校に1名ずつ配置いたします。

また、30年度から実施した高校生チャレンジ支援事業では、高校生が提案する飯山市を考え活性化させるための事業に対する支援の対象を、新年度において拡大し、未来を担う若者の活動を応援いたします。

以上、新年度の重点施策の概要を申し上げましたが、その他の主な施策は、後期基本計画の施策体系に合わせてご説明申し上げます。

一つ目は、自然共生による新しい価値観の発信についてです。

産業・組織・人・地域といった様々な分野における連携を通じ、飯山市の魅力向上と産業の振興を図ってまいります。

農・福連携推進事業（プロジェクトいいやま）により、平成28年度から農業と福祉が連携した障害者就労継続A型事業所が開設され事業展開をしております。新年度においては、農産物出荷貯蔵施設整備に対する補助を行うなど、引き続き、障がい者の自立促進及び農地の有効活用に向け支援を行ってまいります。

ます。「農・商・工」の連携だけでなく、創業・起業者や商品開発に対する支援、地域事業者との連携などを引き続き図ってまいります。

また、自然や景観を守り育て、市民と事業者と行政による景観づくりを進め、まちづくりデザイン計画及び景観計画に基づいた修景整備を推進してまいります。

自然との共生に向け、「克雪・利雪・自然エネルギー」については、雪下ろしに係る労力の軽減や転落事故等の防止のため、住宅屋根の融雪化や落雪化工事に対する補助を拡充し、新たに命綱アンカー設置に対する補助の追加を行い、弱者世帯にかかる住宅除雪費用を助成し、負担の軽減を図ってまいります。また、新たな産業の創出につながる可能性がある飯山の自然の持つエネルギー（水・雪等）の利活用の研究を推進いたします。

二つ目は、飯山の四季の美しさを活用したまちづくりについてです。

豊かな自然と調和した信州の北の玄関口として、飯山駅の利用増進と機能の充実を図るため、観光案内所利用者等の駐車場整備など飯山駅周辺の整備を行うとともに、歴史と自然に彩られたまちづくりを進めてまいります。

社会情勢や都市環境が常に変化するなか、持続可能なコミュニティの形成と都市構造の構築が求められています。都市計画マスタープランの見直しと並行し、立地適正化計画を策定してまいります。

引き続き、生活排水の適正処理による生活環境の保全を図るため、下水道終末処理場の耐震診断を実施するとともに、下水道経営戦略に基づく農業集落排

水施設の公共下水道への統合により、施設整備の最適化を図ってまいります。

三つ目は、高速交通網による交流の促進についてです。

多彩な観光資源と多様な文化を持つ信越9市町村のエリア「信越自然郷」を、世界水準の滞在型観光地、世界中から顧客を呼べる観光リゾート地とすることをめざし、広域観光連携を推進してまいります。

市民一人ひとりが飯山市の観光資源に触れ、その魅力を感じることで自信をもってPRできる観光地づくりを進めるとともに、姉妹都市・観光交流都市・友好都市・災害応援協定都市等との連携や市民・民間交流を推進し、あわせて瑞穂地区の歴史的文化財等を活用した観光地づくり、千曲川の広域利用による観光振興を図ってまいります。

四つ目は、地域産業おこしと若者定住についてです。

自然に育まれた様々な素材や資源を活かせる産業の活性化を図るため、産業の中心的な存在である農業分野については、「農業振興計画」に基づいた生産向上事業、農地荒廃対策事業、担い手育成事業を推進し、地域農業の再生・活性化に向けた取り組みを行います。高齢化や後継者不足に対応するため新規就農者や親元就農者への支援を拡充し、新たにブドウ、プラムなどの産地化に向けた支援を追加するとともに、みゆきポークの生産維持に向けた支援の拡充を行ってまいります。

若者定住については、仕事・住まい・子育てに関する情報を一元化した力強

い発信を行うとともに、施設等の整備についても官民一体となった推進を図ってまいります。

五つ目は、たくましさや郷土愛を育てる教育についてです。

子どもたちが将来自分の道を自由に選択するためには、学力・体力と国際感覚、ICTなど新しい時代に生きる力を身につけることが必要です。その中で、小規模校のメリットを生かしながら、課題検討委員会の答申を基に、適性規模・適正配置計画について新たな委員会を設置して検討の深化を図ってまいります。

生涯学習については、人づくり・地域づくりの観点からも重要な場となっています。推進体制を更に整えるとともに、開館以来非常に大勢の皆様にご活用いただいている「なちゅら」をはじめとする各施設における、市民の芸術文化やにぎわい・交流活動を一層促進してまいります。

また、満州引き揚げに尽力された、富倉地区出身の丸山邦雄氏の功績を後世に伝えるため、地元出身の彫刻家によるブロンズ像を設置し顕彰いたします。

老朽化する施設等につきましては、現状や課題を整理しながら計画的に管理・補修等を進めてまいります。新年度は、市民体育館の耐震改修工事及び大勢の皆様にご快適にマレットゴルフ場をご利用いただくため、新たに休憩施設の整備を行ってまいります。また、2021年開催予定の第70回全国高等学校総合スキー大会に向けて、会場の整備や圧雪車の購入など計画的な施設・設備の整備を行い、地元選手の強化と併せて雪国ならではの子どもたちの育成を図る

てまいります。

六つ目は、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちについてです。

全国的に少子高齢化が続く中、いつまでも健康で安心して暮らせることは社会全体の願いです。子どもを産み育てられる環境づくり、年代に応じた健康づくりや介護予防とともに、防災対策も備えを万全なものとするよう取り組んでまいります。

北信広域連合が行う、千曲荘に代わる老人ホームの建設整備を支援するとともに、日常生活を支える様々なサービス付き高齢者向け住宅の誘致を進めることにより、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

現在、各区で管理を行っている街灯のLED化に対する支援を行っているところですが、図書館、美術館など市で所有する施設についてもLED化による省エネルギー化を進めてまいります。情報発信についても、ケーブルテレビ、インターネット機器の計画的な更新を行うとともに、主要施設等へのWi-Fi環境の整備を順次行ってまいります。

供用開始から長年経過した城山雨水排水ポンプ場について、計画的に抜本的な改修を行ってまいります。新年度においては、耐震診断の結果に基づく工事のための実施設計を行うとともにポンプ、エンジンの更新工事の実施設計を行い、市街地の内水排除対策を進めてまいります。併せて、排水ポンプ車を配備し、出水期の常設排水ポンプのない樋門における内水排除対策も図ってまいります。

全国からご協力をいただいております、ふるさと寄付金事業についても、新年度において5億円の寄付金を見込んでいるところです。市内の特産品等の活性化にも大きく寄与することから、市内団体・企業・事業者等の経済振興対策と市財政の安定化に向けて、引き続き事業の推進を図ってまいります。

以上、施策の概要について申し上げます。

最後になりますが、先に申し上げたとおり、飯山市第5次総合計画後期基本計画の2年目となります。計画のテーマ「北陸新幹線飯山駅を活用した観光交流人口の増、地域産業の創出と育成　そして移住人口、若者の定住人口増へ」と私の3期目の公約に掲げた5項目の重点施策の実現を目指し、全力で取り組んでまいり所存でありますので、市民の皆様の一層のご協力をお願いするとともに、議員各位のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、所信表明と致します。

平成 31 年 2 月

飯 山 市 長 足 立 正 則